



ベアーズだより No.8

2022. 12.

外はすっかり寒くなり、いよいよ冬がやってきたことを感じます。そんな中でも子どもたちは元気いっぱい遊んだり、食べたりと一人一人のペースで過ごしています。また、「なんでも自分でやってみよう！」という時期になっている姿も見られるので、達成感を味わえるようにじっくりと丁寧に関わって行こうと思います。



☆子どものようす☆

ひよこぐみ(0歳児)

室内遊びではままごとの器に玩具を入れて保育者のところに持っていき、食べてもらうことを喜び姿が見られたり、年上のお友だちの側に行き、近くにある玩具を掴んで相手にあげようと差し出したる姿が見られます。受け取ってもらえると笑顔になり、「もうひとつどうぞ！」とやりとりを繰り返し楽しんでいきます。

いすぐみ(1歳児)

パズルに興味を持つ姿が多くなり、用意すると嬉しそうに持ち遊んでいます。果物パズルのピースを食べものに見立てて、友だちと食べる真似をして遊ぶ子や好きな絵柄のパズルをリクエストしてピースをはめることを楽しむ子が見られます。ピースをはめる場所が分かると指先を使ってピースの位置を調整し、自分ではめることができるようになってきた子もありました。

うさぎぐみ(2歳児)

園庭で遊んでいる時に、太陽が雲に隠れることで空の明暗の変化を感じ取り、「暗くなった」「明るい。まぶしい！」と言葉で知らせる子の姿が見られました。また、貨物列車や大型トラックの運転手に向かって、「バイバ〜イ！」と手を振っていると気付いてくれる方がおり、手を振って応えてくれる場面に、「手、振ってくれた〜」と嬉しそうに伝えてくれます。自然現象に興味を持ったり、地域の方との小さなやりとりを喜んだりしている子どもたちです。

☆フラフラ星人のダンス☆

この曲が始まると保育者の周りに集まる子どもたち。両手を胸の前で合わせたまま足首や頭、おへそなど体の部位を振ったり揺らしたりして動かすことが楽しく、みんながノリノリで踊る姿がとっても微笑ましいです。



12月の活動

- ☆
 - ＊
 - ☆
 - ＊
 - ☆
 - ＊
- 天候の良い日には戸外へ出かけ、のびのびと体を動かして遊んでいきたいと思います。

